

県政レポート No.27 <2025.7.2 高橋淳事務所 発行>

山形県議会議員 **高橋 淳** (鶴岡市選挙区・無所属)



【令和7年度所属委員等】※県政クラブ 総務会長

○商工労働観光常任委員会 / ○予算特別委員会 / ○再生可能エネルギー活用・地域経済活性化対策特別委員会(副委員長) 他

【高橋淳事務所】〒999-7601 鶴岡市藤島字古橋跡 100-1 TEL:(0235)26-8731 / FAX:(0235)26-8732

E-mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com / →日頃の活動等は QR コードを参照ください(Facebook 及びホームページ)

山形県議会 6 月定例会が閉会!

県議会 6 月定例会の概要は、県立高等学校の新校舎の整備(**新庄北と新庄南を統合した「新庄志誠館高等学校」**)や高校生等の授業料負担の軽減に向けた国庫補助制度の拡充への対応をはじめ、山形県が直面する様々な課題に対応するため編成したものであります。



また、政府による「**物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(15 億 52 百万円)**」の追加配分があり、長引く物価高騰や米国の関税措置の受ける生活者・事業者の負担軽減に向けた追加の補正予算が提案されました。今定例会での補正予算案総額は **26 億 55 百万円**です。

<その他諸課題対応>

政府の予算を活用し、畜産経営体による収益力強化に向けた**畜舎整備の支援**、農業者団体等に対する**水稻乾燥調製施設等の共同利用施設の合理化への支援**や、航空防除等に利用する**スマート農業機械等への支援**などを実施いたします。

また、今年の1月に埼玉県で発生した道路陥没事故を受けて、流域下水道事業会計の補正予算により、「**大口径で古い下水道管路を対象にした全国調査**」に対応いたします。

<追加提案の概要(生活者・事業者・関税措置)>

○生活者支援として、「**①高等教育機関で学ぶ学生に対する食の支援、②一般家庭等における LP ガス料金の負担軽減、③こども食堂等、④ひとり親世帯への米の購入支援**」です。

○事業者支援(医療機関・社会福祉施設、中小企業等、農林水産業)として**物価高騰支援**などです。

副知事 2 人制! 折原英人氏 (51) !

本県を取り巻く情勢は、人口減少の加速や自然災害の頻発・激甚化、物価高騰の長期化などへの対応が求められるなど、行政ニーズがこれまで以上に複雑・高度化、多様化しています。



このような社会情勢の変化に伴う様々な行政課題に的確に対応していくためには、知事を補佐する体制を強化する必要があると考え、今定例会に「**副知事の定数条例の改正案(2人制)**」が議案に上程され可決いたしました。

また、2009 年以降に定数 1 としてきた副知事 2 人制再導入に関し、**国土交通省大臣官房参事官(現職:航空予算担当)の折原英人氏(51歳)**を、最終日の本会議で選任。今後、県政の重要課題などに連携し取り組んでいく考えです。

※埼玉県出身:東大法学部卒業後に運輸省入省!

やまがたフルーツ EXPO!!

今年はフルーツ栽培開始から150周年にあたる節目の年です。山形県ではこれを「**やまがたフルーツ150周年**」

と位置づけ、記念の年を盛り上げるとともに、果樹産業のさらなる発展を目指しています。



8月8日(金)には、やまがたフルーツEXPO前夜祭(やまぎん県民ホールイベント広場)、また、8月9日(土)~10日(日)は、山形ビッグウイングを会場に「**未来の果樹園**」展が開催されます。

新年度商工労働環境常任委員会

新年度の常任委員会では、「**商工業の振興、労働対策、観光・文化の振興、スポーツによる地域活性化**」など、幅広い県政の課題を質疑しました。

特に本県経済は緩やかに持ち直しているものの、弱含みの動きが続いており、鉱工業生産においては先の見通しが厳しいとのことのお話しをお聞きしており、県内の中小企業への資金繰り支援として、「**県商工業振興資金の融資要件の緩和**」や「**観光事業の高付加価値事業**」が主な内容です。

また、5月中旬は、酒田市の「いろは蔵パーク(株)」、「SAKATANTOコンテナホテル」、「月光川蒸留所(株)」、



鶴岡市の「(株)ベスト(療食)」、「フェルメクテス(株)」などの現地調査を実施いたしました。

県政クラブ「E 8 系故障」要望書！

6月23日、山形新幹線つばさの新型車両「E8系」の故障トラブルを受け、「**早期の原因究明と再発防止に向けてJR東日本に働きかけるよう求める要望書**」を高橋副知事に手交しました。

本県の大動脈である山形新幹線の直通便が大きく減少し、22日現在で42,000人以上に影響を及ぼしました。

補助電源の半導体損傷との発表がされていますが、今も大規模な運休が続いています。

鶴岡市第1位 (R 4 市町村内総生産額 + 9. 9%)

市町村内総生産(1年間の付加価値)については、庄内地域が実数で12,195億円、経済成長率で5.4%となり2年連続の増加。市町村別では鶴岡市が第1位です。製造業が主因である。

最低賃金改善の請願は継続審査!!

連合山形より、「**山形地方最低賃金の改善を求める請願について**」の審査においては、「私から中央と地方の賃金格差のため、地方からの人材流出が生じており、最低賃金を上げていく努力をしていく必要があるため、本請願は採択すべきである。」などの意見を述べさせて頂きました。

なお、県でも政府へ「**中小企業・小規模事業者の人手不足解消に向けた賃金工場に係る総合的な取組の推進**」の施策提案がなされています。

6月20日には、連合山形の石川正樹副事務局長、県側との勉強会を実施したところです。

地元県立高等学校の施設調査！

5月上旬、保護者や学校関係者からご報告を受け、「**県立鶴岡工業高等学校」「加茂水産高等学校**」

の雨漏りなどの施設の現地調査を実施した。

その後、県教育局側への要望活動とヒアリングを実施。今年度予算内における修繕費用の配置換えを行い、現在、修繕対応などを行って頂いております。



県議会レポートあとかき

毎年、「山形県保育協議会」と保育懇談を行っている。人口減少に伴う園の存続、配置基準の見直しなど課題は多い。子どもを産み育てたいと思える県独自の施策が必要だと感じた。

先日、山形地方気象台の菅原誠次長から、「**気候変動と今後の見通し(21世紀末の予測)**」の講演を頂いた。4℃上昇では100年に一回しか起こらなかった大雨が約2.2回の頻度で発生する。

昨年の記録的大雨被害からまもなく1年を迎えるが、令和7年4月現在、県内の「土砂災害警戒区域」は5,231カ所を指定している。日頃から防災意識を高め、命を守るための備え、そして、災害が起こらいことを願うばかりだ。